

カナダ Westgate Mennonite Collegiate 藤田 さん

留学期間：R4.8～R5.7（1年間）

私は九月からカナダのマニトバ州ウィニペグの Westgate Mennonite Collegiate に留学をしています。この学校はキリスト教、メノナイト系の小さな私立学校です。私は、ホームステイではなく叔父の家に滞在しており五歳と八歳の従弟に色々教えてもらいながら生活しています。毎日初めてがいっぱいで大変ですがとても楽しいです。私の住んでいるマニトバは、小さな街で自然がとてもきれいな所です。冬には気温が氷点下四十度まで下がることもあるそうです。「フレンドリーマニトバ」というキャッチコピーがあるほど地域の人には本当に親切で親しみやすいです。アパートのエレベーターに乗っていても、スモールトークは日常茶飯事で、突然自己紹介が始まることもあります。



ホストファミリーと

学校の初日は、友達ができるのか、私の今の英語力でやっていけるのかたくさんの不安を抱えて登校しました。しかし、いざ学校に行ってみるとみんな本当に優しく、私のつたない英語も嫌な顔せず聞いてくれました。授業が始まって1か月くらいは本当に大変で、何もわからなかったということもありましたが、先生方のサポートもあり今では大分授業にもついていけるようになりました。この学校の先生方は、分からないことがあると丁寧に教えてくださり、上手い出来ない時も、「心配しなくて良いよ。第二言語で学習するのは大変だし、よく頑張っている。」と励ましてくださいます。本当に親切で良い学校です。



チャペルの様子

この学校の生徒はクリスチャンスタディという授業を必修でとっています。キリストのことについてはもちろんですが、自分の信じるものについて考える課題などもあります。今まで自分の宗教や信仰について考えたことがなかったのでとても貴重な体験だと感じています。また、私の学校は、宗教の一環として毎週チャペルという時間があります。みんなで集まり、歌を歌って聖書の一部を読みお祈りをします。心が休まる私の好きな時間です。定期的にコンサートがあり、生徒と親が集まって合唱や吹奏楽の発表をしたり聞いたりします。

私の友達には、フランス語が第一言語の子やイスラム教を信じる子、私と同じ時期に韓国から留学生としてきた子など、国籍も宗教も様々です。カナダやキリスト教の文化だけでなく他の国、ほかの宗教についても学んでいます。嬉しいことに日本に興味を持ってくれる子もおり、私も日本の文化を英語で話したり書いたりする機会が多いので自分にとっていい学習になっています。



コンサートの様子

私がここにきて一番驚いたのは、カナダの人はみんな自分の代名詞を持っていることです。自己紹介でも、名前の次に来る程こちらの人にとって重要なものです。私は She/her を使ってほしい。自分は They/them がいいなど、一人一人に対する配慮を感じます。私は GSA というジェンダーについて学び理解しようという会に所属しており活動頻度は少ないものの知らなかったことをたくさん学ぶことができています。

私の地域はボランティア活動が盛んです。私もクラブ活動をしていないので、代わりに課外活動としてボランティアに積極的に取り組んでいます。アイスホッケーや、イルミネーションのイベントスタッフなど気になったものには積極的に取り組んでいます。

休みの日は、家族で公園に出かけたりすることが多いです。近くに大きな公園がたくさんあり天気

良い日も多いので気持ちがいいです。ハロウィーンにはパンプキンケーキや、トリックオアトリートに連れて行ってくれました。ホリデーには、本物の木を買ってきてクリスマスツリーを作ったり、コテージを借りたりして数日滞在しました。気温にも恵まれ、焚火や、ゲームをしながらのんびり過ごしました。叔父たちのおかげで、本当にたくさんの貴重な体験をさせてくれています。

今こうして日本を離れ、カナダで生活できているのは、家族だけではなくふるさと納税に寄付していただいた方々、準備に協力してくださった先生方のおかげです。皆様への感謝を忘れず、残り約半年間日々努力し頑張ります。



たこ焼き作り



お菓子の家作り



友達の誕生日会で



オーロラ



コテージでの様子